仙台空港 東北飛躍の翼に

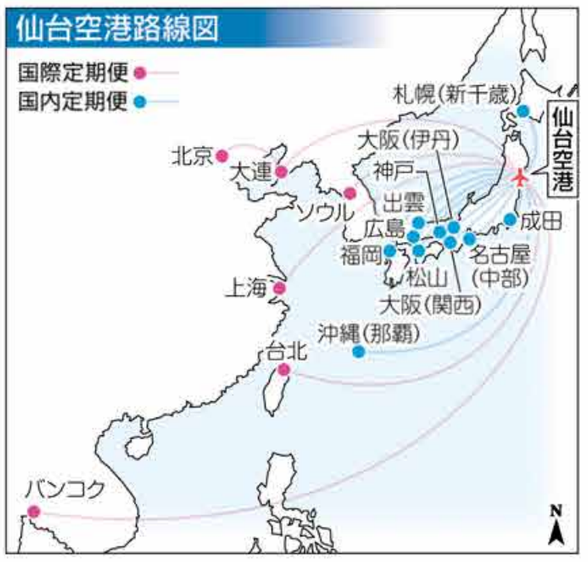
ともに創ろう 躍進する宮城の未来 PROGRESS
県政紹介シリーズ③

宮城県は仙台空港を通じて東北全体にヒト、モノを呼び込み、東北産業経済の活性化が図られるよう、運用時間の24時間化を推進してきました。このほど名取、岩沼両市との合意を受けて24時間化が可能となったことで、交流人口の増加や物流機能の集積など、さまざまな効果が期待されます。今後、新型コロナウイルス感染症の収束後も見据えながら、宮城・東北の持続的な発展に向けて、仙台空港を最大限活用した取り組みを着実に推進していきます。

機能強化へ24時間化

旅客便については、東南アジアなどの中距離路線の誘致に加え、日本を経由する国際線の誘致の可能性が高まります。また、早朝夜間の時間帯を利用した航空路線の維持・拡充が期待されます。

また、貨物便については、仙台空港の24時間化により、新たな国際貨物便誘致にもプラスになります。今後、県内で生産された多くの工業製品が仙台空港から輸出され、鮮度が重要な農林水産物の輸出拡大の可能性も高まります。より付加価値の高い製品の輸出や新たな販路開拓も期待されます。



民営化5年 効果徐々に

民営化から5年。仙台空港の機能強化へさまざまな取り組みが続く

仙台空港が国管理空港として全国で初となる民営化を実現してから、7月で5年を迎えました。旅客数は、民営化以降順調に増加し、2019年度には371万人と過去最高を記録しましたが、20年度はコロナ禍で大幅に減少し、厳しい状況が続いています。

この中で、航空路線の明るい動きも出ています。7月にアイベックスエアラインズによる松山線が新規就航し、10月にはピーチ・アビエーションによる名古屋線が増便されました。

需要喚起 取り組み推進

県はポストコロナの速やかな経済回復に向けて、仙台国際空港株式会社とともに運用時間24時間化の強みを生かしたエアポートセールスを進めています。

旅客便については、プロモーション事業を通じて観光需要を喚起し、交流人口の拡大を、貨物便については、貨物集荷事業などへの支援で国際貨物取扱量の増加を目指すなど、宮城・東北の持続的な発展に向けた取り組みを積極的に推進していきます。

仙台商工会議所会頭・仙台空港国際化利用促進協議会会長
鎌田 宏さん

仙台空港の路線誘致や旅客、貨物の利用拡大に、地元経済界のまとめ役として取り組んできた仙台商工会議所。歴代の会頭は仙台空港国際化利用促進協議会の会長も務め、東北経済飛躍の鍵として空港の機能強化を訴えている。

国際線や貨物誘致に力

「コロナの影響で旅客も貨物も落ち込んでいる中での仙台空港運用24時間化は非常に明るい話題。時間的制約の緩和で新規路線や増便の可能性が広がり、コロナ後の需要拡大に大いに期待している」と歓迎する。

国際線の運休が続き、他空港経由の貨物需要再集約も課題だ。「コロナ対策上、訪問によるセールスは難しかったが、状況が許せば運休している国際線の再開や貨物専用便の誘致に足を運びたい。付加価値の高い生鮮食料品や電子部品、航空部品、医薬品など、東北一円の産品を輸出する重要なルートになる」と力を込める。旅客に関しても「短期的にはアジア近距離路線、将来的には過去実績のあるホノルル便も誘致できれば」と思い描く。

商談や会議などのビジネスの往来は、オンライン会議やリモートワークの普及で様変わりした。一方で、大企業や省庁の地方移転など、東京一極集中を変える兆しもある。

「最近は東北が世界的旅行ガイドブック『ロンリープラネット』の推奨旅行先3位になったり、国内では西日本の学校が修学旅行先に選んでくれたりした。こうした動きがコロナ後に向けた種まきになることを期待している」と説く。

仙台国際空港代表取締役社長
鳥羽 明門さん

東急、前田建設工業、豊田通商など7社が設立した運営会社、仙台国際空港。旅客ターミナルビルのサイン改修や店舗再配置を進め、東北各地への高速バス路線を誘致し、活気あふれる空の玄関口に生まれ変わった。また、将来の航空需要増加に備え搭乗口を増やすため、乗降設備を簡素化した新旅客棟（ピア棟）を完成させた。

「民営化から5年経過したが、交流人口を拡大し、地域経済活性化に貢献するという仙台空港の役割は変わらない。24時間運用が可能になったことで、ピア棟開設との相乗効果が期待できる」と評す。

7月に運用時間が午後10時まで30分延長され、札幌線の到着便繰り下げが実現した。「30分の違いで、1日に就航できる都市が一つ増えることもある。航空会社の要望に耳を傾けながら、騒音対策は守れるのかなど地域と共生する空港として、慎重に最適解を探っていく」と実直に語る。

コロナ禍による減便や欠航が生じたことを業務品質改善の好機とし、1月、品質管理の国際規格「ISO9001」の認証を取得した。認証機関の専門家が業務手順を一つ一つ外部の視点で検証し、顧客サービスの品質マネジメントを継続的に行う仕組みが確立した。

「航空会社、旅客、貨物利用者に『次も仙台空港で』と選んでもらえるよう、引き続き安全性、利便性、快適性に磨きをかけていきたい」とコロナ後を見据えた。

ピア棟と相乗効果期待

アイベックスエアラインズ代表取締役社長
浅井 孝男さん

仙台から、札幌、名古屋、大阪（伊丹）、広島、福岡、松山の6都市へ飛ぶアイベックスエアラインズ。運航拠点を仙台空港に置き、70人乗りジェット機10機を運航する。大型機では採算が厳しい地方都市間の多頻度運航を、小型機で実現するリージョナルエアライン（地域航空会社）として初フライトから21年を数える。

この7月、二つの新しい動きがあった。一つは札幌からの最終便30分繰り下げ。仙台空港の運用時間延長で仙台着が午後9時半になった。「滞在時間が長くなるのはもちろん、空港の運用時間が長ければ荒天時の欠航リスクも下がる」と、運用時間延長を歓迎する。

もう一つは松山線の新規就航。「愛媛県では搭乗客の松山・広島間のフェリー・高速船運賃を大幅に割引くサービスを船会社の協力で実現した。宮城県側も二次交通や滞在時間を楽しむ仕掛けに、一層工夫を凝らしていく必要がある」と利便性向上に知恵を絞る。

二次交通など工夫必要

ピーチ・アビエーション執行役員経営企画担当
遠藤 哲さん

仙台空港に大阪（関西）、札幌、沖縄、名古屋、台北の国内4路線、国際1路線を就航する全日空傘下の格安航空会社（LCC）ピーチ・アビエーション。2012年の初就航以来、早期購入などの期間限定で大阪片道最安3000円台のような変動運賃で注目され、国内外50路線を有する日本の代表的なLCCに成長した。コロナ禍にあっても沖縄や名古屋に新規就航するなど、攻めの経営姿勢が際立つ。

「国内線のLCCシェアは19年で10・6％（国土交通省調べ）と、3割とも4割ともいわれる欧米に比べると低く、潜在的な航空需要がある。収支も20年は大変厳しかったが、20年から21年へ、21年も上期から下期へと、着実に改善している」と背景を説明する。

仙台空港の24時間化は「LCCのビジネスモデルを支えるのは、機材の効率的な稼働。空港運用時間が長いほど、さまざまな目的地へ多くの便を飛ばすことができる」と高く評価。運営会社の仙台国際空港との連携についても「施設改修や二次交通充実などの提案力に期待している。便利、安心、快適という共通のゴールのために、対等のビジネスパートナーとして協力したい」と話す。

若者には定着した感のあるLCCだが、より広い世代や家族連れの利用拡大が課題。「仙台空港を使ったことがない人もまだ多いはず。空の旅に行きたくなるような情報発信をこれからも続けていきたい」と意欲を示した。

便利、安心、快適へ連携

県からのお知らせ

※各記事の詳しい内容は㊟にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

広報課ホームページ
宮城県　県からのお知らせ　検索

就職氷河期世代を対象とした宮城県職員採用試験

●職種・採用予定者数／①一般事務・5人程度②学校事務・2人程度③警察事務・3人程度④土木・2人程度
●受験資格／昭和45年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方
●申込期間／～11月19日(金)(消印有効)
●第1次試験日／12月12日(日)
●待遇／給与は県規定による
●願書／県庁1階総合案内などで配布
㊟ 人事委員会事務局総務課
☎022(211)3761

県営住宅入居者常時募集

県は、都度入居申し込みが可能で、先着順により受け付ける常時募集を行っています。

募集住宅や申込方法は、下記窓口にお問い合わせください。

㊟ 宮城県住宅供給公社
(石巻市、気仙沼市、東松島市を除く)
☎022(224)0014
〒980-0011仙台市青葉区上杉1-1-20
㊟ 宮城県住宅供給公社東部支社
(石巻市、気仙沼市、東松島市)
☎0225(85)0296
〒986-0812石巻市東中里1-11-2
㊟ 住宅課　☎022(211)3252

県有財産を一般競争入札でお売りします

●入札物件／①栗原市栗駒中野瓦焼場51番1・宅地400.69㎡②仙台市宮城野区仙台港北二丁目4番8外6筆・宅地10611.26㎡③名取市閖上東一丁目7番2・宅地270.50㎡④名取市閖上東一丁目7番3・宅地271.69㎡
●申込期間／～11月30日(火)
●入札期日／12月16日(木)～17日(金)
●受付会場／【16日】県庁16階1601会議室【17日】県庁11階1101会議室
㊟ 管財課　☎022(211)2353

助産師による妊産婦電話相談

県は、妊娠・出産・産後の生活などに不安を抱える妊産婦の皆さんの相談に応じるため、助産師による電話相談を行っています。

●相談電話／☎090(1060)2232
●受付時間／毎週月・水・金曜日（祝日・年末年始を除く）午後1時～7時
㊟ 子ども・家庭支援課　☎022(211)2633

大規模事業評価に関する意見募集

大規模事業評価に関する資料を公表し、県民の皆さんのご意見を募集します。

●対象／県立高等技術専門校再編整備事業
●資料公表場所／県政情報センター、各地方振興事務所(仙台を除く)県政情報コーナー、県議会図書室(県議会庁舎)、ホームページ
●募集期間／～11月30日(火)
●提出方法／郵送(消印有効)、ファクシミリ、Eメールにより下記へ
㊟ 総合政策課
☎022(211)2406　FAX 022(211)2493
Eメール seisakuiken@pref.miyagi.lg.jp

障害者芸術文化活動研修会

県内の障害者芸術文化を志す各個人・団体の活動を充実したものにするために、研修会を開催します。美術館で、鑑賞することの楽しさや醍醐味を味わいましょう。

●日時・場所／11月11日(木)午後1時15分～3時15分・塩竈市杉村惇美術館
●対象／障害のある方およびその家族、支援者、アーティスト
●申し込み／電話、ファクシミリまたはEメールで下記へ(定員に達し次第締め切り)
㊟ SOUP(スウプ)
(障害者芸術活動支援センター@宮城)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目3-22 第五菊水ビル3階
☎070(5328)4208　FAX 022(774)1576
Eメール soup@ableart.org
㊟ 障害福祉課　☎022(211)2541

みやぎゼロカーボンチャレンジキャンペーン 2021

家庭における地球温暖化対策を推進するため、「みやぎゼロカーボンチャレンジキャンペーン2021」を実施しています。

選りすぐりの宮城県産品など、景品当選のチャンスがありますので、奮ってご応募ください。

●応募要件／ゼロカーボンや脱炭素に関するインスタグラムの投稿
●応募締切／1月31日(月)
●備考／当選対象者は県内在住の方のみ
㊟ 環境政策課　☎022(211)2661

「みやぎの林業」会社説明会

●内容／県内の森林組合、林業会社10団体(予定)による合同説明会
●対象・定員／就業を希望する方30人程度(先着順)
●日時／11月28日(日)午後1時～3時
●場所／エスポールみやぎ多目的ホール(仙台市宮城野区幸町4丁目5-1)
●申し込み／11月25日(木)までに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、郵送・Eメールなどにより下記へ
㊟ 林業振興課
〒980-8570(住所記載不要)林業振興課宛
☎022(211)2913　FAX 022(211)2919
Eメール rinsink@pref.miyagi.lg.jp

宮城県子ども・子育て会議および宮城県次世代育成支援対策地域協議会委員募集

子ども・子育てに関する施策の推進に必要な事項などを審議する委員を募集します。

●対象者・人数／【子ども・子育て会議】県内に在住の満20歳以上で、平成15年4月2日以降生まれの子どもの保護者の方・1人【次世代育成支援対策地域協議会】次世代育成支援に関心をお持ちの方・2人(いずれの会議も国または地方公共団体の議員および職員を除く)

任期や募集期間など詳しくは県ホームページをご覧ください。

㊟ 子育て社会推進課　☎022(211)2528

性暴力被害に遭われた方の相談

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です。誰にも相談できず、ひとりで悩んでいませんか？まずはお電話にてご相談ください。

●支援内容／相談、医療機関などへの付き添い、被害に伴う受診費用の助成など
●対象／性暴力被害に遭われた方およびその家族など
●相談電話／性暴力被害相談支援センター宮城(0120)556460
●受付時間／月曜日～土曜日(祝日を除く)午前10時～午後8時(土曜日は午後4時まで)
土曜日は男性相談員による相談も行います。
※上記時間外も、コールセンターで受付します。
㊟ 共同参画社会推進課
☎022(211)2567

宮城県農業大学校「令和4年度入校生募集」

農業大学校では、将来、県内で農業を職業としたい、農業法人で働いてみたいといった意欲を持った方を対象に、一般入校試験(前期)を実施します。

●募集学部／①水田経営学部②園芸学部③畜産学部④アグリビジネス学部
●募集人員／各学部若干名
●修学期間／2年間
●募集期間／～11月19日(金)
●試験日／12月3日(金)
●試験科目／①筆記試験(国語総合・数学Ⅰ・小論文)②個人面接
㊟ 農業大学校 教務部
☎022(383)8139

みやぎ働き方改革セミナー

働き方改革に関する法令関係の説明や、介護業界の働き方に関する事例紹介についてオンラインで配信します。

●対象者／経営者や人事労務管理者など(介護業対象)
●日時／11月11日(木)午後1時30分から3時50分
●申し込み／みやぎ働き方改革応援サイトから
㊟ 雇用対策課　☎022(211)2771

山仕事ガイダンスのお知らせ

●内容／①就職の支援プログラムの紹介②林業の会社紹介、経験談③就業相談
●定員／20人(先着順)
●日時／11月21日(日)午前10時～正午、午後1時～3時
●場所／ヒューモスファイブ9階中会議室(仙台市青葉区中央1丁目10-1)
●申し込み／11月18日(木)までに住所・氏名・年齢・電話番号・希望時間(午前・午後)を記入の上、郵送・Eメールなどにより下記へ
㊟ 林業振興課
〒980-8570(住所記載不要) 林業振興課宛
☎022(211)2913　FAX 022(211)2919
Eメール rinsink@pref.miyagi.lg.jp

宮城県特別支援学校文化祭

●内容／①「十人十色みんなの色がここに集まる」をテーマに県内特別支援学校の学校紹介パネルの展示②特別支援学校高等部による作業製品販売会、ステージ発表
●場所／県庁1階玄関ホール、県民ロビー
●開催日／11月8日(月)～9日(火)、11日(木)～12日(金)
※新型コロナウイルス感染症の状況により内容が変更または中止となる場合がありますので、事前にホームページでご確認ください。
㊟ 特別支援教育課　☎022(211)3647

県議会 11月定例会開会

11月24日(水)午後1時から11月定例会の本会議が開かれます。本会議や委員会は傍聴できるほか、本会議の様子はウェブでもご覧いただけます。

また、議会庁舎1階ラウンジでコンサートを行います。ぜひお越しください。

●日時／11月24日(水)午後0時15分～45分
●出演者・曲目／山下進・平調音取、越殿楽ほか
㊟ 議会事務局総務課　☎022(211)3571

企画／宮城県広報課